

# ふみびと

第67号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 周りを照らす笑顔

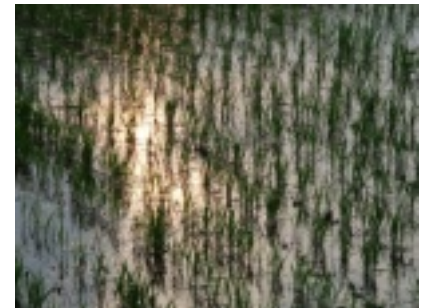
# 一通の手紙 広がる世界

ゴールデンウィーク、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

五月病という言葉があるように、ゴールデンウィークに入ると、緊張の糸が緩んで、その後の生活に倦怠感を感じてしまう方もいるそうですが、幸い(?) 私はゴールデンウィークの大型連休とは無縁で連日働くことができたので、五月病にはならず済みました(笑) さて、皆さんは落ち込

んだときや、挫けそうになったとき、どのように立ち直っていますか。

好きなことをして気持ちよくなりました、悩んで悩み抜いて脱出の糸口を探したり、人それぞれに立ち直る方法があると思いますが、私はとにかく笑うようにしています。仕事で壁にぶつかったときや、恋人と別れたとき、どんなに落ち込んだときもテレビのお笑い番組を観ていたらいっつの間



にか落ち込んでいたのも忘れたようにお腹を抱えて笑っていたのを思い出します。

悩みを解決してくれるわけではないけれど、「笑い」は悩みを解決するための大きな力を与えてくれるものです。また、「クリスマスキャロル」などの小説で知られるチャールズ・ディケンズが「この世に笑いと上機嫌ほどつつりやすい

みんなの声をつくる  
投稿テーママ  
募集中

投稿のお題、募集中!

村民のみんなに聞いてみたいことを募集しています。こんなことを正直聞いてみたい...このお題にみんなが答えたら...みんなはどう答えるのかな...など、お互いを知ることができたら、お題が事務局までお送りください。どしどしお送りくださいね!!

### 編集後記

ものはない」と言つたように周りの人まで自然と幸せな気持ちにしてくれるものでもありません。辛いときに自分だけでなく一緒に周りの人の気持ちまで明るくできたら、それはとても素敵なことですよ。私も周りの人の五月病も吹き飛ばせるような笑いを届けたいものです。

現実とはいうと、人を笑わせるより、不本意に笑われることの方が多いような気がします(笑) そういう笑いの届け方もあり、でしょう。

文通村も今年でようやく3年目を迎えることができました。今はたくさんの手紙が実際に行き交っています。最初は3通でした。ただ最近では、手紙があまり自分のところへ届かないという声も少し聞きます。手紙が届くのを全員が待ってしまうと、一通も手紙が行き交わなくなってしまうのです。ですから、手紙が来ないなど思ったときは手紙を気になる方へ出してください。そして、届いた相手は手紙が届いたら必ず何かしらの返事をしてあげてください。文通村のルールの一つです。

相手への善意が必ずしもすべて理解されるとは限らない。すべてが理解されるほどこの世間は甘くはないし、また、理解してもらいたいと思うようでは、それは善意とは言わないのかもしれない。難しい話である。

自分が良いと思ったことが相手にはうまく伝わらないことなどい

くらでもある。これを読むすべての人がこれまでの人生の中で、同じような経験

### 相手を察する

を感じたことがあるだろう。相手を思ってしまった行為が逆に相手を怒らせてしまったときなどである。

少し一歩引いてその構図を見てみると、自分と相手との互いの自分勝手な構図が見えてくる。人は誰も自分勝手な自分を持っている。それゆえに、相手の行動を推し量ることができない場面も少なからず出てくるのだろう。相手の気持ちを察するだけの余裕を

持ち合わせたいものである。